

請 願 文 書 表

受 理 番 号	第 9 号
受 理 年 月 日	令和 6 年 5 月 2 3 日
件 名	「イスラエル政府に対して、直ちに戦闘をやめるよう要請する」意見書を日本政府に上げることがを求める請願
請願者の住所 及 び 氏 名	群馬県桐生市 桐生・みどり地区平和委員会
請 願 の 要 旨	請願趣旨 イスラエルとハマスの戦闘から7ヶ月が過ぎ、ガザ地区では35,000人以上（5月17日BBCニュースより）の人たちが犠牲になり、今でも毎日のようにガザ地区の全ての病院や学校等がイスラエルにより攻撃され、犠牲者は毎日のように増え続けている。これら犠牲者の半数以上は子どもと女性だといわれている。子どもたちが「病気、栄養失調、戦闘という三重の死の脅威に直面している」とユニセフ（国連児童基金）は警鐘を鳴らしている。 国際司法裁判所（ICJ）でも「パレスチナのガザ地区でイスラエルが国際条約違反のジェノサイドを行っている」という南アフリカが起こした訴訟に対して、「ジェノサイド防止のためのあらゆる措置を取る」ことを命じた。 これに対して、世界各地で、イスラエルのジェノサイドをやめさせることや、即時停戦を求める声が、高まっている。 イスラエルとハマスの戦闘がもたらした悲劇の実情を直視して、直ちに戦闘をやめることをイスラエル政府に申し入れることが大切だと考える。 桐生市議会に置いては地方自治法第99条に基づき、日本政府に対して「イスラエル政府に対して、直ちに戦闘をやめるよう要請する」意見書を議決するよう請願するものである。 請願事項 「イスラエル政府に対して、直ちに戦闘をやめるよう要請する」ことを桐生市議会として日本政府に提出すること。
紹 介 議 員	関口 直久、渡辺 恒
付 託 委 員 会	総務委員会
審 査 結 果	